



29

走れメロス

描写を味わう

太宰治

ねらい

- ① 表現に注意して、話の展開を捉えよう。
- ② 登場人物の心情の変化を読み取ろう。
- ③ 主人公の人物像をつかみ、主題を捉えよう。

ウォーミングアップ



読解の道しるべ

主な登場人物

- ・メロス：王に激怒、捕縛される。妹の結婚式のため、三日間の猶予を乞う
- ・セリヌンティウス：メロスの親友。人質に。メロスが戻らなければ殺される
- ・王（ディオニス）：邪知暴虐・人を信用しない・人を殺す

物語の流れ

約束をした日	メロス 結婚式の支度で町へ。王の邪知暴虐を聞き、激怒。 王城に向かい、捕らえられる。 結婚式に出るための三日の猶予を乞う。 王 人を信じない。メロスが逃げると思っている。
一日目	メロス 朝、村に着く。結婚式に参加する。 祝宴を挙げ、妹夫婦を祝福。深く眠る。
二日目	メロス 早朝に出発。 豪雨で氾濫する川／山賊／疲労＝困難 ↓倒れて自暴自棄になり、まどろむ。 清水の音↓希望が湧く。 刑場に到着し、セリヌンティウスが解放される。
三日目	メロス 信実を認め、態度が改まる。



「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

- ① メロスは、王が人を せず、たくさんの人を殺すことに激怒し、短剣をしのばせて城にのりこむ。
- ② 王に捕縛されたメロスだが、 の結婚式のために、友人のセリヌンティウスを にして村に帰る。
- ③ 度重なる困難を振り払い、メロスは友人との を果たしてみせたのだった。

漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

- | | |
|--------------|----------------|
| ① 暴虐の王。 | ② 姉は流行に敏感だ。 |
| ③ 花婿が入場する。 | ④ 警吏が巡回する。 |
| ⑤ 泣いて命乞いをする。 | ⑥ 昨夜は一睡もしていない。 |
| ⑦ 眉間にしわを寄せる。 | ⑧ 丈夫な橋桁を造る。 |
| ⑨ 心地よい風が吹く。 | ⑩ 日照りで草木が萎える。 |

- ③ 選手センセイを行^う。
- ① 美しいハナヨメ。
- ④ 罪人をシヨケイする場面。
- ② 優勝のシユクエンを聞く。
- ⑤ 線の片仮名を漢字で書きなさい。
- ③① 妄想にとりつかれる。
- ②⑨ 裸体像を模写する。
- ②⑦ 山賊の役を演じる。
- ②⑤ 空に一片の雲が浮かぶ。
- ②③ 誠の心で事にあたる。
- ②① 雨が降って蒸し暑い。
- ②⑨ 川の水が氾濫する。
- ②⑦ 民の意見を聞く。
- ②⑤ 舞台上ぶたいで着る衣装。
- ②③ 怪しい動きをする。
- ②① 獅子奮迅の勢いで進む。
- ②⑨ 寒さで胴震いする。
- ②⑦ 車に酔う。
- ②⑤ 人質を解放する。
- ②③ 拳こぶしを握りしめる。
- ②① 布が裂ける。
- ②⑨ 川の渡わたし守。
- ②⑦ 真紅のバラの花。
- ②⑤ 急いで出かける支度しどをする。
- ②③ 醜い争いをする。
- ②① 塔楼の上で見張る。
- ②⑨ 風船が破裂する。

- ⑤ ケツコン式けつこんしきに出席する。
- ⑦ サイダンさいだんに花を供える。
- ⑨ テーブルを布でオオ^う。
- ⑪ フキツふきつな予感がする。
- ⑬ 歩いてトウゲとうげを越こえる。
- ⑮ 横ナグリの雨が降る。
- ⑰ イモムシいもむしが葉の上をはう。
- ⑱ 罪人をホウメンする。
- ⑲ 土のカタマリかたまりを運ぶ。
- ⑲ 愛犬をホウヨウする。
- ⑲ 村外れのサビしいお寺。
- ⑲ 時間通りにトウチャクする。
- ⑲ 暖かいふとんにモグリ込こむ。
- ⑥ 王の前にメめされる。
- ⑧ 申し出をシヨウダクする。
- ⑩ 局所的なゴウウ。
- ⑫ 流れがウスうすを巻く。
- ⑭ イッセイいっせいに走り出す。
- ⑯ ダクリユウだくりゆうが押おし寄せる。
- ⑰ ヒレツひれつな行こういいを憎にくむ。
- ⑲ 任務をスイコウする。
- ⑲ シップウしっぽうのごとく走る。
- ⑲ クウキヨくうきよな生活を送る。
- ⑲ コドクこどくな生活を送る。
- ⑲ コヨイこよいの月は美しい。
- ⑳ クルくるったように踊まる。

3 次の各問いに答えなさい。

□31 山頂をアオギ見る。

□32 耳をアオギにして鳥の声を聴く。

(1) 次の語句の意味として最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

□1 竹馬の友

ア とても仲のよい友人。 イ 一緒に行動する友人。

ウ 幼い頃からの友人。 エ めったに会わない友人。

□2 はらわた

ア 本心。 イ 理性。 ウ 内向的な性格。 エ 無意識。

□3 無二

ア 決断すること。 イ ほかにはないこと。

ウ 特殊なこと。 エ 奇妙で変わっていること。

□4 独り合点

ア 他人の批判や主張に論じ返すこと。

イ 自分では思いもしなかった行動をすること。

ウ 自分ひとりで分かったつもりになること。

エ 人の考えについていけないこと。

□5 妄想

ア 将来のことについてあれこれ思うこと。

イ よくないことばかり考えてしまうこと。

ウ 自分の考えを人に押しつけること。

エ ありもしないことをあると信じていること。

(2) 次の線部の語句の使い方が正しいものを一つ選び、記号で答えなさい。

□1 ア 見たこともないような美しい景色にいきり立った。
イ ハンマーで固い岩を思い切りいきり立った。

ウ だまされていたと知って、彼はいきり立った。

□2 ア 彼は見え透いた嘘をついて、しらをきった。
イ 彼女の見え透いた瞳で見つめられるときどきする。
ウ 朝の電車には、人々が見え透いたようにいる。

□3 ア 夏祭りの日は、街中がじだんだ踏んだような騒ぎだ。
イ 僕との勝負に負けた兄は、じだんだ踏んで悔しがった。
ウ なかなか入部の決意がつかず、何度もじだんだ踏んだ。

□4 ア 足跡からすると、畑を荒らしたのはぜひといいのしだ。
イ あのチームがぜひとも負けるだろうか。
ウ 出張の際はぜひとも我が家においでください。

□5 ア 人前で転んで、恥ずかしくてほくそ笑んだ。
イ 役者の愉快な演技に思わずほくそ笑んだ。
ウ 獲物がわなにかかり、猟師はほくそ笑んだ。

□6 ア 作戦が失敗して、敵の思うつぼにはまる。
イ 新薬の開発に失敗して、思うつぼになった。
ウ 思うつぼで、欲しいものを手に入れる。

□7 ア 有名な役者の演技は、観客の心に巣くう。
イ 台風が接近しているので、自宅で巣くうことにした。
ウ 邪悪な考えが僕の心の底に巣くう。

□8 ア 様々な音楽を小耳に挟むことで、教養を磨く。
イ 店の経営が思わしくないと、小耳に挟む。
ウ さきほどからずっと、蚊の羽音を小耳に挟む。

□9 ア 高価な服なので、買うのを赤面する。
イ 間違いを指摘されて、思わず赤面する。
ウ 連日の激しい練習で赤面する。

(3) 次の意味の二字熟語を、後の漢字を組み合わせて書きなさい。

□1 まだ夜が明けきらない頃。……

② 義理堅く、実直なこと。……………

③ うそやいつわりがなく、正直なこと。……………

④ 非常に珍しく、滅多にないこと。……………

空 律 実 擁 行 虚 明 抱 希 信 儀 遂 未 代

(4) 次の□に入る語句を、後の□から二つ選び、書きなさい。

① 周りを□ように小声で話す。

② 相手を見下したような表情で□。

③ 納得できない面持ちの友人を、どうにかなだめ、□。

とりなす・嘲笑する・気にする・はばかり・せせら笑う・すかす

(5) 次の語句の類義語として適切なものを後から二つ選び、記号で答えなさい。

① ひるむ

ア なためる イ たじろぐ ウ はばかり

エ とりなす オ すくむ

□ () □ () □ ()

② みじんもない

ア まったくない イ 予想もしない ウ 経験がない

エ ありえない オ 少しもない □ () □ () □ ()

③ ひよっとしたら

ア どうしても イ あいにく ウ もしかすると

エ 万が一 オ やはり □ () □ () □ ()

④ 徐々に

ア いくらか イ ゆっくり ウ 突然に

エ 少しずつ オ ひときわ □ () □ () □ ()

(6) 次の語句の類義語を、□に漢字一字を入れて作りなさい。

① 反駁 || 反 □

② 残虐 || □ 道

③ 頑強 || □ 情

④ 哀願 || □ 願

(7) 次の語句の類義語を、□に漢字一字を入れて、①は二つ、②は一つ作りなさい。

① 希代 || 前代 □ 空前 □ 後

② 疑惑 || 疑心 □ 鬼

(8) 次の語句の対義語を漢字二字で書きなさい。

① 鈍感 ↑ ↓ □ □ 正当 ↑ ↓ □

〈広がる言葉〉

1 ———— 線の読み仮名を書きなさい。

① 差別的な発言に憤慨する。

② ほめられて悦に入る。



練習問題 1

教科書 P.153 2.17 ~ P.156 2.8

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(1) — 線①「買い物を、背負ったままで、のそのそ王城に入ってしまった」とありますが、メロスは、なぜ「王城に入ってしまった」のですか。文中の言葉を使って二十字以内で書きなさい。

□(2) — 線②「王の顔は蒼白で、眉間のしわは、刻み込まれたように深かった」からは王が苦悩している様子が読み取れますが、その原因として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 体の不調。 イ 国力の弱さ。

ウ 人間への不信。 エ 平和維持の困難さ。

()

(3) — 線③「メロスが嘲笑した」のはなぜですか。次の文の□ A・Bに入る言葉を、文中からそれぞれ二字で書き抜きなさい。

平和を望むと言いながら、自分の□ A を守るために人を殺すというのは、王の□ B にほかならないと思ったから。

□ A

□ B

□(4) — 線④「王はりこうだ。うぬぼれているがよい」に表れているメロスの気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 自分のような力のない者が何を言おうと王が聞き入れないのは残念だ。

イ 自分の考えていることを全て見通した王に、敬意を表したい。

ウ 自分の心の中が王は見えていると言うが、実は何にも見えていないのだ。

エ 自分の思いを何としても王に分かってほしいのだ。

()

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(太宰治『走れメロス』)

45

40

35

30

25

(5) ———線⑤「頼む。そうしてください」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ メロスのこの願いを、王はどのように受け止めましたか。次の文の□に入る言葉を文中から六字で書き抜きなさい。

友人を身代わりにして、メロスはここには□つもりだ。

□
□
□
□
□
□
□
□

□Ⅱ 王はメロスのこの願いを承諾しょうだくすることで、人々に後で何を示そうとして
いますか。「人間」という言葉を使って二十字以内で書きなさい。

□
□
□
□
□
□
□
□

□(6) ———線⑥「ものも言いたくなくなった」のは、なぜですか。次の文の□
に入る言葉を文中から四字で書き抜きなさい。
王が自分を□だと決めつけているから。

□
□
□
□

(7) 王とメロスの、人間に対する考え方が端的たんてきに語られている一文を文中から
探し、それぞれの初めの五字を書き抜きなさい。

□王
□
□
□
□
□
□

□メロス
□
□
□
□
□
□



練習問題 2

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

教科書 P.158 2.13 ~ P.160 2.14

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(1) — 線①「あの王に、人の信実の存するところを見せてやろう」と気負い奮い立つメロスの気持ちは、出発前のどんな動作によく表れていますか。文中から十字以上十五字以内で書き抜きなさい。

(2) — 線②「幾度か、立ち止まりそうになった」理由をまとめた次の文の□ A ~ C に入る言葉を、文中から A は二字、B は四字、C は五字で書き抜きなさい。

故郷への□ A が断ち切れず、□ B ために走らなければならないことが、□ C から。

□ B

□ C

□ A

□(3) — 線③「見よ、前方の川を」とありますが、川を見た瞬間のメロスはどんな様子でしたか。その様子が分かる一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。

□(4) — 線④「男泣きに泣きながら」とありますが、メロスはどんなことを思っていますか。文中の言葉を使って書きなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

（太宰治『走れメロス』）

45

40

35

30

25

- (5) — 線⑤「ますます激しく躍り狂う」とありますが、このすさまじい濁流

を何にたとえていますか。文中から五字で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--

- (6) — 線⑥「獅子奮迅の人の子の姿」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

- Ⅰ 誰のどんな姿を、このように表現しているのですか。十五字以上二十字以内で書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- Ⅱ Ⅰのような姿に駆り立てるのは、どんな力ですか。文中から五字以上十字以内で書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

- (7) — 線⑦「馬のように大きな胸震いを一つして」から、メロスのどんな様子が読み取れますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 災難を乗り越えることができ、安心しきった様子。

イ 激流のすごさを思い返し、恐ろしくなっている様子。

ウ 自分を守ってくれた神に対して感謝する様子。

エ 次の行動に向かって奮い立っている様子。

() ()

- (8) — 線⑧「さては、王の命令で、ここで私を待ち伏せしていたのだな」と

メロスが思ったのは、なぜですか。書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--



練習問題 3

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

教科書 P.160
Q.17
P.163
Q.15

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

25

20

15

10

5

□(1) — 線①「悔し泣きに泣きだした」とありますが、なぜですか。「困難」「疲れきって」という言葉を使って、**四十字以内**で書きなさい。

□(2) — 線②「愛する友は、おまえを信じたばかりに、やがて殺されなければならぬ」とありますが、メロスはなぜこのようなことを心の中で言っているのですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
ア 友の最期さいごの姿をせめて心の中にだけでも思い描えがこうと思ったから。
イ 友を助けられない情けなさをばねに自分を奮起ふんせいさせようと思ったから。
ウ 友を窮地きうちに立たせている王の権力の大きさを理解し、絶望を感じたから。
エ 友が自分を信じている姿を思い浮かべ、感慨かんがいにふけろうと思ったから。

() ()

□(3) — 線③「暗い疑惑の雲」とは何のことですか。**十字以内**で書きなさい。

□(4) — 線④「王は、独り合点して私を笑い」とありますが、王がどのようなことを独り合点するのでしょうか。次の文の□□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(太宰治『走れメロス』)

50

45

40

35

30

メロスは、自分が

[Blank box for answer]

したとおりに、わざと

[Blank box for answer]

てきたのであり、やはり、この世に愛や正義、
などあるはずがないということ。

[Blank box for answer]

□(5) ———線⑤「悪徳者として生き延びてやろうか」とありますが、「悪徳者として生き延びる」とは、具体的にどうすることですか。「〜こと。」に続く形で文中から十一字で書き抜きなさい。

[Blank box for answer]

こと。

(6) ———線⑥「歩ける。行こう」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ このときのメロスの前向きな気持ちを情景描写びょうしやで表した一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。

[Blank box for answer]

□Ⅱ メロスがこのように考えることができたのは、なぜですか。「疲労」「希望」という言葉を使って、三十字以内で書きなさい。

[Large grid for answer]



練習問題 4

教科書 P.164 0.1 ~ P.165 0.15

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(1) — 線①「おまえの恥ではない」とありますが、どういうことですか。次の文の□に入る言葉を、文中から**五字**で書き抜きなさい。

自分の本心ではなく、□ことよって悪い考えにとりつかれていたということ。

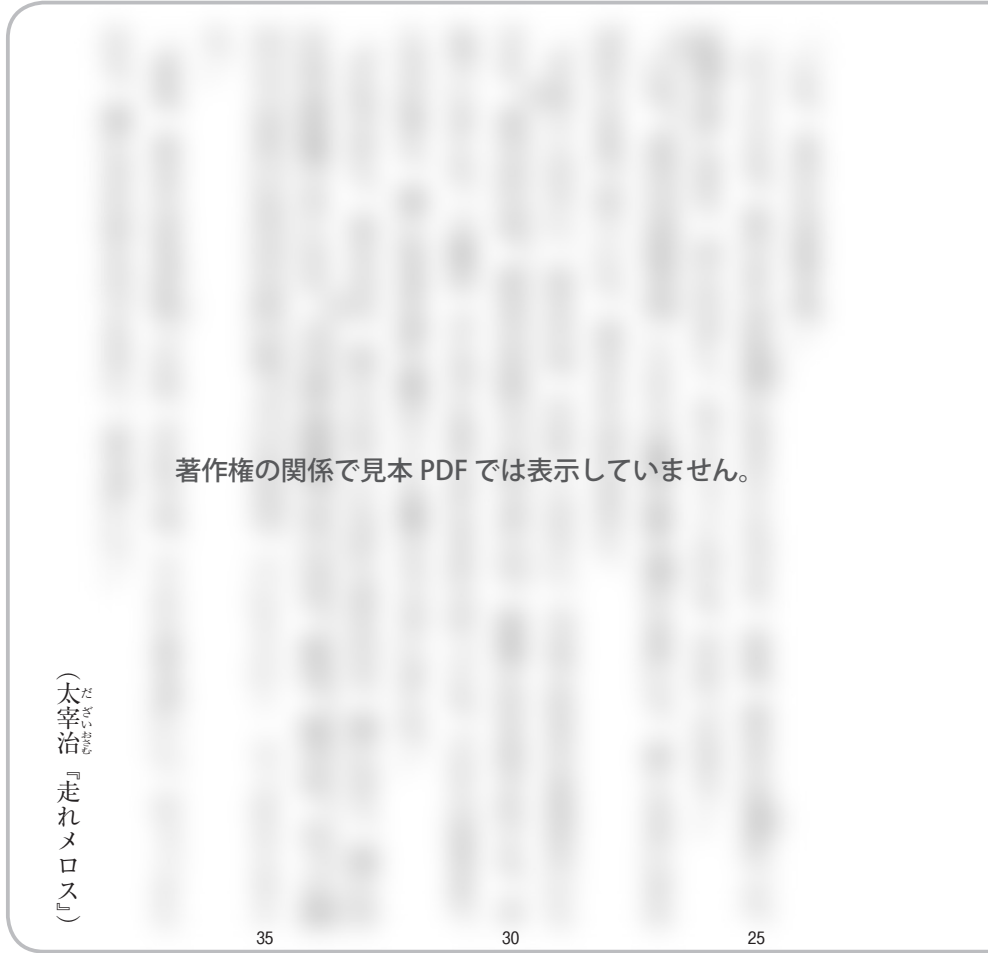
□(2) — 線②「正義の士として死ぬ」とはどういうことですか。文中の言葉を使って、**十五字以内**で書きなさい。

□(3) すさまじい勢いで走るメロスの様子をたとえて表した表現を、文中から**三字**で書き抜きなさい。

□(4) — 線③「もう、だめでございます。無駄でございます。走るの、やめてください」とありますが、この発言に込められた、フィロストラトスの気持ちを**二つ**書きなさい。

□	□

□(5) — 線④「いや、まだ日は沈まぬ」と言ったときのメロスの様子として最



著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

（太宰治『走れメロス』）

25

30

35

- も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア 自分が間に合うことを確信し、余裕が出ている。
- イ 無我夢中で、自分が何をしているかが分からずにいる。
- ウ 時間が迫っても信じて走るしかないと自分に言い聞かせている。
- エ 大切なときに話しかけてくる相手を不快に思っている。

（ ）

□(6) ——線⑤「あのかたは、あなたを信じておりました」とありますが、そのことがよく分かる言葉を文中から七字で書き抜きなさい。

□(7) ——線⑥「人の命も問題でないのだ。私は、何だか、もっと恐ろしく大きいもののために走っているのだ」とありますが、どういうことですか。「命」「信じる」という言葉を使って、六十字以内で書きなさい。

定期テスト対策

教科書 P 152 ~ 169

実施時間のめやす ↓ 20分

得点

／ 100点

Ⅰ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(1) ———線①「言うにや及ぶ。……走った。」のような短い文の連続によって、

何が感じられますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 思うように走れないことへのメロスのいらだち。(10点)

イ 自分の力のなさを痛感したメロスの苦しみ。

ウ 自信を持って走るメロスの心のゆとり。

エ メロスの走る必死さや約束の刻限が迫る緊張感。()

(太宰治『走れメロス』)

40

35

30

25

